

# 施設基準

令和7年3月1日現在

当院は、下記の施設基準で届出が受理されております。

【病床数 122床】

## ■急性期一般入院基本料1

当病院では、1日に40人以上の看護師（看護師及び准看護師）が配置されております。

日勤帯（8時45分～17時30分） 看護師1人あたりの患者様受け持ち数は4人以内です。

夜勤帯（17時30分～8時45分） 看護師1人あたりの患者様受け持ち数は14人以内です。

## ■地域包括ケア入院医療管理料2（18床）

急性期治療を経過した方などを受け入れし、在宅復帰支援機能を有した病床です。

## ■地域包括医療病棟（29床）

軽症・中等症の高齢者の急性期治療を中心とし、高度救急医療機関からの転院受入も行う病棟です。

## ■DPC（包括支払制度）対象病院

疾患等により、国で定められた1日あたりの定額部分と一部出来高部分を合算し医療費を計算します。

基礎係数 1.0451 機能評価係数Ⅰ 0.2513 機能評価係数Ⅱ 0.0617 救急補正係数 0.0127

## ■在宅療養支援病院3

## ■在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料

## ■在宅がん医療総合診療料

24時間連絡が取れる体制を整え、患者さんの求めに応じて24時間往診の可能な体制を整えております。

## ■救急医療管理加算

地域における救急医療体制の計画に基づいて、緊急入院が必要な重症患者様を受け入れております。

## ■精神疾患診療体制加算

精神病棟に入院中で、身体合併症により入院治療が必要な方の転院を受け入れております。

## ■診療録管理体制加算3

診療情報管理士を1名配置し、診療情報の提供を行っております。

## ■医師事務作業補助体制加算1（40対1）

病院勤務医の負担軽減及び処遇の改善を図るため、医師事務作業の補助体制を整えております。

## ■急性期看護補助体制加算（25対1看護補助者5割以上）

急性期医療を担う病院において、勤務医及び看護職員の負担軽減及び処遇の改善を図るため、看護業務の補助の体制を整えております。

## ■夜間急性期看護補助体制加算（30対1・50対1）

地域の急性期医療を担う病院において、夜間の看護業務の補助の体制を整えております。

## ■夜間看護体制加算

夜間緊急時等の対応体制を整えております。

## ■看護補助体制充実加算

看護職員及び看護補助者の業務分担・協働を推進しております。

## ■看護職員処遇改善評価料43

看護職員等の処遇改善に努めております。

## ■感染対策向上加算2（携強化加算・サーベイランス強化加算）

院内感染防止対策を講じ、安全な療養環境の提供する体制を整えております。

## ■入退院支援加算1

退院に向けた総合的な支援体制を整えております。

## ■データ提出加算2（提出データ評価加算）

診療に付随する様々な診療データを国に提供し、医療の質の向上に努めています。

## ■がん治療連携指導料

がん診療拠点病院等と連携し、連携診療計画に基づき診療しております。

## ■がん性疼痛緩和指導管理料

がんによる痛みの緩和を目的とし、適切な指導管理を行っております。

## ■夜間休日救急搬送医学管理料（救急搬送看護体制加算）

夜間休日において、救急車等の積極的な受け入れ体制を整っております。

## ■ニコチン依存症管理料

禁煙に関する総合的な指導及び治療管理を行っております。

## ■外来腫瘍化学療法診療料1

## ■外来化学療法加算1

抗悪性腫瘍用薬等を専用室において、医師・看護師の監視下で注射を行っております。

## **■認知症ケア加算 2**

認知症状の悪化を予防し、身体疾患の治療を円滑に受けられるよう支援いたします。

## **■せん妄ハイリスク患者ケア加算**

入院患者に対してせん妄のリスク因子の確認を行い、ハイリスク患者に対するせん妄対策を実施しております。

## **■栄養サポートチーム加算**

原疾患の治癒促進等を目的とし、多職種で栄養管理いたします。

## **■周術期栄養実施管理加算**

医師及び管理栄養士が連携し、術前・術後における適切な栄養管理を実施しております。

## **■二次性骨折予防継続管理料 1・3**

大腿骨近位部骨折後の再骨折防止のため治療や検査を行います。

## **■緊急整復固定術加算及び緊急挿入加算**

大腿骨近位部骨折に対し、48時間以内の早期の手術を行い適切な周術期管理に取り組んでおります。

## **■医療DX推進体制整備加算**

医療DXを推進するための体制を整備しております。

## **■外来・在宅ベースアップ評価料（I）及び入院ベースアップ評価料 52**

医療従事者の賃金水準の向上や人材確保、労働環境の改善を目的としております。

### **【リハビリテーション】**

#### **■運動器リハビリテーション料（I）**

#### **■呼吸器リハビリテーション料（I）**

#### **■脳血管疾患等リハビリテーション料（II）**

#### **■廃用症候群リハビリテーション料（II）**

リハビリテーション室に専用の設備・機械・器具等を有し常勤の理学療法士・作業療法士・言語聴覚療法士を配置しています。

### **【食 事】**

#### **■入院時食事療養（I）**

食事の提供は、管理栄養士によって管理された食事を適時、適温で提供しています。

〔食事時間〕 朝食午前8時・昼食は午後1時・夕食は午後6時

### **【薬 局】**

#### **■薬剤管理指導料**

常勤の薬剤師を4名以上配置し、必要に応じて入院患者様の投薬及び注射の薬学的管理・指導を行っております。

#### **■無菌製剤処理加算**

安全キャビネットを設置し注射薬の無菌製剤処理を行っております。

#### **■後発医薬品使用体制加算 2**

後発医薬品を積極的に使用しております。

### **【検 査】**

#### **■検体検査管理加算（I）及び（II）**

血液検査等において、良質な検査提供ための十分な設備と体制を整えております。

#### **■埋込型心電図検査**

体内に一時的に記録装置を埋め込み、長時間の心電図検査が行えます。

### **【レントゲン】**

#### **■マルチスライス型（16列）単純CT撮影装置**

広範囲を一度に撮影でき、検査時間が短縮、高精細な画像で、診断が行えます。また、患者さまの放射線被ばくを低減しております。

### **【手術・麻酔等】**

ペースメーカー移植術、ペースメーカー交換術（電池交換を含む）、大動脈バルーンパンピング法（IABP法）

埋込型心電図記録計移植術、埋込型心電図記録計摘出術、胃瘻造設術・胃瘻造設時嚥下機能評価加算

通則5及び6に掲げる手術（別紙「施設基準に適合している手術」）

#### **■麻酔管理料（I）**

麻酔科医を1名配置しており、麻酔の安全管理体制を整えております。

#### **■輸血管理料（II）、輸血適正使用加算**

輸血を安全かつ適正に実施できるよう輸血管理を行っております。